

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	福祉課
会議名 (審議会等名)	第3回嬉野市高齢者保健福祉計画策定委員会	
開催日時	令和6年3月5日(金)午後2時～午後2時45分	
開催場所	嬉野市役所 嬉野庁舎 3-1会議室	
傍聴の可否	㊦ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
傍聴不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員	堤安直委員、諸岡博子委員、坂口典子委員、 光武一行委員、福田真義委員、石崎知樹委員、 板家圭祐委員、永尾春子委員、馬場昇委員、 副島裕二委員
	事務局	山口課長、志田副課長、富永副課長、中村主任
	その他	
会議の議題	別紙のとおり	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 嬉野市高齢者保健福祉計画策定委員会 (案) ・ 嬉野市高齢者保健福祉計画概要版 (案) 	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	福祉課
議 題	嬉野市高齢者保健福祉計画について		
内 容	令和6年～令和8年度嬉野市高齢者保健福祉計画について		
審議経過		事務局よりパブリックコメントを受けての協議、変更点について説明を行った。	
	委員	P14 違う会合で、嬉野市の場合、単身で職を持っていない方が増えているためにうつ病などが増えているのではないかという話があった。	
	事務局	うつ傾向の要因がわかればここに記載した方がわかりやすいように思う。健康づくり課で自殺対策の計画策定も行っているため、意見を聞き、うつの理由などがあればわかりやすく説明、記載していきたいと思う。	
	事務局	P23 抽出方法の記入はしなくてもいいと思うが、その後どうしているかだけでも、訪問や電話で状況の確認を行い、必要な方の受診やサービスをすすめている等の記載を追加したいと思う。	
	委員	介護現場の生産性向上について、介護現場のマパワーは90%以上と考えていいが、答えには該当しないように思う。ロボットやICTについてもそろそろ考えないといけないように思う。そういうものが生産性向上になるというのが直接の回答かと思う。	
	委員	介護ロボット、ICTなどを取り入れるにあたっては国から補助金が出る。介護ロボットの導入はすすんでいる途中だと思う。国が示している全部のベッドにセンサーをつけるなどは、なかなか遠い道のりに思うが、可能な限りロボットなどを導入し、介護負担の軽減や転倒事故等の防止につなげるというところで、介護現場の生産性をあげ、質の高い介護を提供できる環境をつくることをすすめている途中ではある。	
委員	小さいところには無理。まだ途中段階だろうと思う。		
事務局	市の方で補助金を出すことは難しい。一般論としてここに記載させ		

		ていただきたいと思う。
	事務局	「嬉野市高齢者保健福祉計画（概要版）」に基づき事務局より説明。文字は小さくないか。見づらい部分はないか。
	委員	これくらいの字の小ささは仕方ないと思う。
	委員	ページ数は何か決まりがあるのか。
	事務局	だいたい冊子にするには4の倍数といわれている。この8ページを一通り読めば今回の計画の方向性等がわかる前提にし、更に詳しい中身を知りたいと思っていただければ計画書本文を見ていただく意味合いで、ベストなのが8ページだと思う。また、まだパイロット版になる為、絵やイラストは「ゆつつらくん」や市のものに変更することもできる。
	事務局	前回概要版は老人クラブ、介護保険の事業所に配布した。居宅介護支援事業所は施策に絡むところが多い為、計画そのものの配布を行うなど、少し変化をつけて忙しい合間に読んでいただけるように配布している。
	委員	本計画に飛べるようにQRコードなどを記載した方がいいのではないか。
	事務局	QRコードをつけて計画のHPに飛べるようにしたいと思う。「ゆつつらくん」のイラスト等が必要であれば記載したいと思う。今回も老人クラブの各会長に配布したいと思うが、光武委員、どう思われるか。
	委員	住民には配布されないのか。
	事務局	住民への配布は今回考えていない。
	委員	わかっている人はわかるが、そこが一番問題なように思う。老人クラブだけでなく皆に配布した方がいいように思う。
	委員	せっかくこういったものができているのに、住民が知らないのはもったいない。
	委員	これ自体を住民に配るということはできないのか。
	事務局	令和6年は暮らしの便利帳を65歳以上がいらっしゃる全世帯に郵送にて配布する。そこに同封できれば同封するか、無理であれば回覧を使用するなど、予算に合わせて検討を行いたいと思う。
	委員	回覧は隔々まで見ない。回覧では無理だと思う。皆に計画をわかってもらうようにするためには配布がいいように思う。
	事務局	暮らしの便利帳を郵送する際に、予算が許す限りにはなるが検討し、可能であれば同封するようにしたいと思う。